

子ども医療費助成制度に関するアンケート調査結果

日頃より入間市政に対し、ご協力とご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、平成 25 年 4 月に実施した「子ども医療費の支給対象年齢の拡大（中学校 3 年生まで）」から 1 年を経過（本調査は平成 26 年 6 月に実施）したことから、本事業の効果等を把握するためのアンケート調査を実施いたしました。

多くの方のご協力に感謝申し上げますと共に、次のとおり調査結果についてご報告いたします。

なお、この調査で得られた結果については、子ども医療費支給制度及びその他子育て支援に関する制度の参考とさせていただきます。

入間市福祉部こども支援課

◆アンケート実施概要

1. 調査の目的	助成制度の効果の検証及び今後の方向性の参考にするため
2. 調査の対象者	児童手当受給者（15 歳以下の子どもを養育している世帯） 約 11,000 世帯
3. 調査の実施時期	平成 26 年 6 月

問 1 ご回答者の年齢は次のどれですか？【回答数：8,934】

- ① 10代 50人（0.56%）
- ② 20代 705人（7.89%）
- ③ 30代 3,812人（42.67%）
- ④ 40代 3,888人（43.52%）
- ⑤ 50歳以上 479人（5.36%）

問 2 子ども医療費支給対象（中学校 3 年生まで）のお子さんは何人ですか。 【回答数：8,935】

- ① 1人 4,311人（48.25%）
- ② 2人 3,650人（40.85%）
- ③ 3人 853人（9.55%）
- ④ 4人以上 121人（1.35%）

問 3 子ども医療費助成制度は、どのような点で役立っていますか。（複数回答可） 【回答数：14,629】

- ① 経済的負担の軽減 8,407人（57.47%）
- ② 早期治療による子供の健全な成長促進 4,288人（29.31%）
- ③ 子供を育てやすい環境の整備による少子化対策 1,859人（12.71%）
- ④ その他（・病気の早期発見、持病を含む長期治療に役立つ）
（・育児への不安が軽減。安心感がある）
（・若い世帯の減少を防げる） など 75人（0.51%）

問 4 お子さんが医療機関で受診する回数ほどのくらいですか。【回答数：8,950】

- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 月1～2回程度 | 3,426人 (38.28%) |
| ② 月3～4回程度 | 827人 (9.24%) |
| ③ 月5回以上 | 168人 (1.88%) |
| ④ 年1～2回程度 | 788人 (8.80%) |
| ⑤ 年3～4回程度 | 1,967人 (21.98%) |
| ⑥ 年5回以上 | 1,774人 (19.82%) |

問 5 お子さんが医療機関を受診する主な理由はどれですか。(複数回答可)
【回答数：16,430】

- | | |
|---|-----------------|
| ① 急な発熱、風邪などの疾患 | 7,710人 (46.93%) |
| ② ぜんそく、アレルギーなど慢性的な疾患 | 2,652人 (16.14%) |
| ③ 捻挫、骨折などのケガ | 1,671人 (10.17%) |
| ④ 虫歯などの歯の疾患 | 3,671人 (22.34%) |
| ⑤ その他 (・持病の治療や定期健診、アレルギー、ウィルス性の病気)
(・眼科、耳鼻科、皮膚科、歯科、予防接種)
(・スポーツ、部活による怪我) など | 726人 (4.42%) |

問 6 子ども医療費の助成はいつまでが妥当だと思いますか。【回答数：8,912】

- | | |
|---|-----------------|
| ① 高校卒業まで | 5,473人 (61.41%) |
| ② 中学校卒業まで | 3,177人 (35.65%) |
| ③ 小学校卒業まで | 165人 (1.85%) |
| ④ 小学校入学まで | 20人 (0.22%) |
| ⑤ 必要ない | 7人 (0.08%) |
| ⑥ その他 (・成人、または就労し納税開始まで)
(・軽く受診する人が多いため、1～2割は負担した方が良い)
(・持病がある子どもは高校まで、完治するまで) など | 70人 (0.79%) |

問 7 適正医療の意味をご存じですか。【回答数：8,439】

- | | |
|---------|-----------------|
| ① 知っている | 4,142人 (49.08%) |
| ② 知らない | 4,297人 (50.92%) |

問 8 適正医療について、努力していることはありますか。(複数回答可)
【回答数：17,441】

- | | |
|---|-----------------|
| ① かかりつけの病院(薬局)等がある | 5,177人 (29.68%) |
| ② ジェネリック薬品を使っている | 3,704人 (21.24%) |
| ③ うがいや手洗いなどの予防対策をしている | 5,132人 (29.42%) |
| ④ 休日・夜間の診察は控えている | 2,528人 (14.49%) |
| ⑤ 特に何もしていない | 807人 (4.63%) |
| ⑥ その他 (・健康体作りー特に食事のバランス)
(・お薬手帳の活用、不要な薬は断る)
(・むやみに病院に行かない) など | 93人 (0.53%) |

問 9 #8000（埼玉県小児救急電話相談）を知っていますか。【回答数：8,743】

- | | |
|-------------|------------------|
| ① 知っている | 3,427 人 (39.20%) |
| ② 利用したことがある | 1,900 人 (21.73%) |
| ③ 知らない | 3,416 人 (39.07%) |

問 10 おかあさんのための救急&予防サイト「こどもの救急」(社団法人小児科学会監修)を知っていますか。【回答数：8,576】

- | | |
|-------------|------------------|
| ① 知っている | 1,435 人 (16.73%) |
| ② 利用したことがある | 255 人 (2.97%) |
| ③ 知らない | 6,886 人 (80.29%) |

問 11 医療費の増大や、適正な受診を促がすため、子ども医療費に支給制限などを設けている自治体がありますがどう思われますか。(複数回答可)
【回答数：15,411】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ① 滞納者に対する支給制限は不相当だと思う | 1,581 人 (10.26%) |
| ② 滞納者に対する支給制限はやむを得ないと思う | 3,716 人 (24.11%) |
| ③ 所得制限は不相当だと思う | 1,760 人 (11.42%) |
| ④ 所得制限はやむを得ないと思う | 4,125 人 (26.77%) |
| ⑤ 自己負担の導入は不相当だと思う | 2,562 人 (16.62%) |
| ⑥ 自己負担の導入はやむを得ないと思う | 1,427 人 (9.26%) |
| ⑦ その他 (抜粋し、次に記載) | 240 人 (1.56%) |

- 支給制限に関して
 - ・滞納の理由が悪質な場合はやむを得ない。
 - ・本当に困っていて滞納している世帯に対しては良策でない。
 - ・どんな理由であれ、子どもは平等に受診できるべき。
- 所得制限に関して
 - ・高額所得世帯に対してはやむを得ない。
 - ・税金を払っているのにサービスが受けられないのは不公平。
- 自己負担に関して
 - ・無料なのを良い事に不必要な処置、薬の処方をする病院が見受けられる。また、やたらと病院にかかる人達もいる。
 - ・回数制限や限度額を設けるなど一部自己負担しても良い。
 - ・自己負担の導入は、少子化対策にならない。
- その他の意見・要望
 - ・市内だけでなく、県内は窓口負担なしにして欲しい。
 - ・もっと子どもへの福祉を充実して欲しい。
 - ・病院は老人の集いの場となっている。高齢化社会なのだから、もう少し老人にも負担して欲しい。
 - ・慢性疾患については継続治療が必要なため、子どもの年齢制限は設けなくて欲しい。

自由意見欄

ご意見・ご要望等ございましたら、次の自由意見欄にご記入ください。

【回答数：844】

多かったご意見・ご要望から抜粋

- 214 人：年齢拡大したことによりとても助かっている。
- 83 人：市内に小児科医（夜間、休日当番）が少ない。
- 77 人：市外でも窓口負担を無くして欲しい。
- 55 人：支給制限を子供の医療に向けるのは間違っていると思う。